

風評・風化対策の強化に向けて



福島県風評・風化対策監 野地 誠

平成27年6月7日 福島12市町村の将来像に関する有識者検討会(第7回)

12市町村の現状

事業及び営農再開が進んでおらず厳しい状況である。

事業再開等の状況

1 避難指示区域等における地元再開は486事業所、再開率は17.7%と、厳しい状況

避難指示区域等の事業再開状況

○ 避難指示区域等所在商工会会員の事業再開状況

2,741事業所中、1,507事業所 再開率55.0%

〔 製造業56.9% 建設業78.7% 卸売・小売業34.8% 〕

〔 サービス業48.2% その他70.4% 〕

うち地元再開 **486事業所** 再開率**17.7%**

(平成27年4月20日現在、県商工会連合会調べ)

2 避難指示区域等における経営上の課題は、「取引先減少、販路喪失」、「雇用の確保」、「風評による売上減少等による業績悪化」が上位を占める。

避難指示区域等の経営課題

○ 顧客・取引先の減少、販路・商圈の喪失 **60.0%**

○ 雇用・労働力の確保が困難 **57.8%**

○ 業績の悪化(風評による売上減少等) **35.6%**

(県内商工業者の経営課題等に関する調査結果について)

営農再開の状況

避難地域の復興にとって、食料を生産する農業の再生は重要な柱であるが、営農再開状況は12市町村全体で7.4%にとどまり厳しい状況。

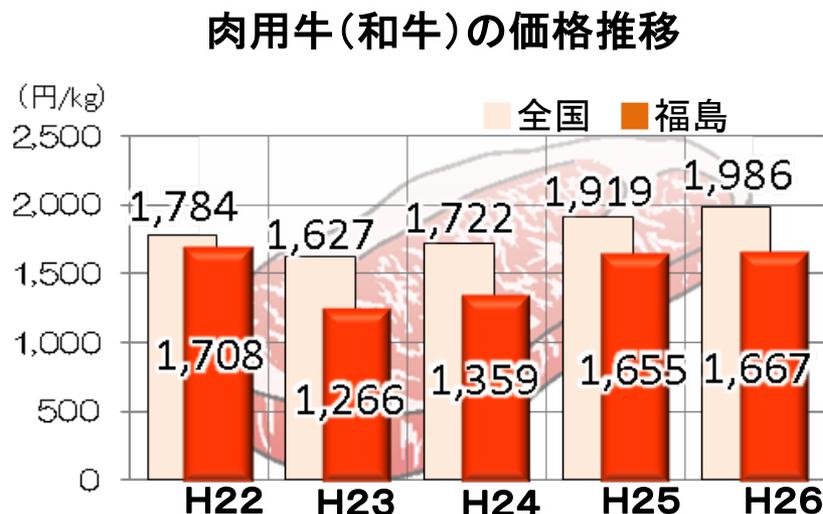
避難指示区域等における営農再開状況

面積(ha)

市町村名	休止面積	再開面積	再開率
南相馬市	7,289	725	9.9%
飯舘村	2,330	0	
川俣町	375	0	
葛尾村	398	0	
田村市	893	316	35.4%
川内村	605	112	18.5%
浪江町	2,034	0	
双葉町	723	0	
大熊町	936	0	
富岡町	861	0	
檜葉町	585	0	
広野町	269	127	47.2%
計	17,298	1,280	7.4%

農林水産物の現状と課題

県産農林水産物の価格が戻らない、取引が回復しない。



【首都圏の卸会社への聞き取り】

- ・震災以降、取引が回復していない生産者がいるなど厳しい状況である。
- ・震災後、消費者から安全性等に対する問合せに対応できず、取扱いをやめている量販店もある。

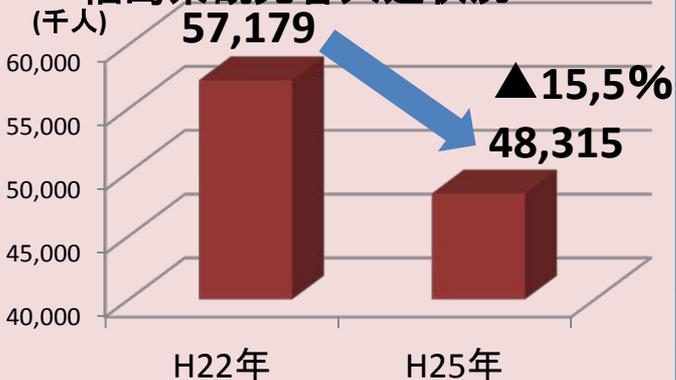
《課題》

- 県内外の消費者、流通業者、販売店に対し、安全性の理解促進と生産農家の姿やおいしさなどの魅力を発信
- 震災により失われた販路の回復、新たな販路の開拓

観光の現状と課題

震災以前の観光客入込数には回復していない。

福島県観光客入込状況



県北

H22 10,923千人 → H25 9,997千人
▲8.5%

相双

H22 5,384千人 → H25 1,483千人
▲72.5%

県中

H22 8,253千人 → H25 6,789千人
▲17.7%

(注)震災後、飯館村、広野町、
檜葉町、富岡町、大熊町、双
葉町、浪江町、葛尾村の8町
村で統計取れず。

会津

H22 15,147千人 → H25 16,293千人
+7.6%

南会津

H22 3,691千人 → H25 3,271千人
▲11.4%

県南

H22 3,014千人 → H25 2,792千人
▲7.4%

いわき

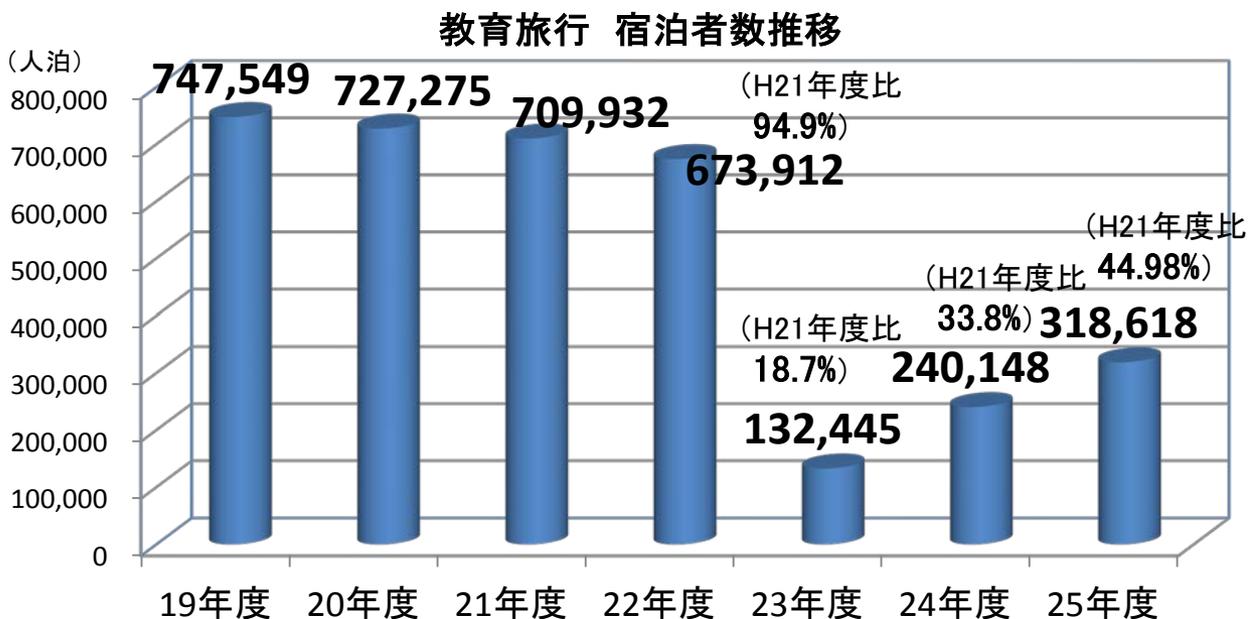
H22 10,767千人 → H25 7,690千人
▲28.6%

《課題》

- 近隣県や首都圏などをターゲットにした誘客対策
- 会津地域に加え、入込数が回復していない中通り、浜通りの誘客対策

教育旅行の現状と課題

教育旅行については、震災直後から回復しつつあるが、ピーク時と比較すると4割強の教育旅行宿泊者数にとどまっている。



【本県への教育旅行に関する声】

- ・一部の保護者の反対が根強い(教育委員会)
- ・放射線や食の安全等についての質問がほとんどで、いまだに不安が大きい(保護者会)

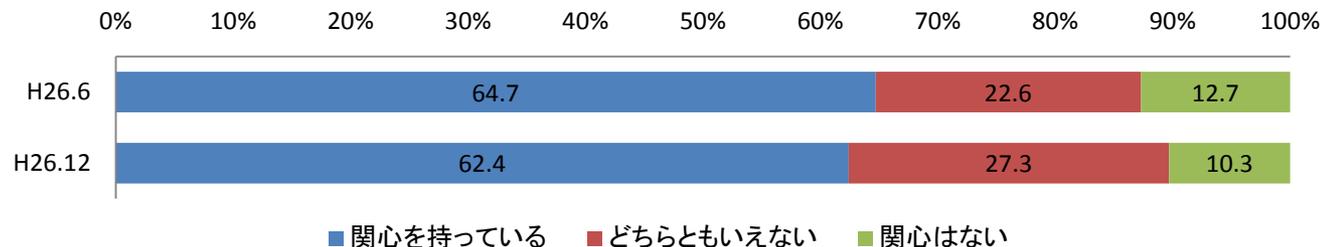
《課題》

- 震災前に来ていた首都圏及び近隣県の学校をターゲットとした誘致対策
- 保護者、学校、教育委員会の放射線等に対する正しい理解の促進と本県の観光素材等の魅力を併せた発信

震災の風化の現状と課題

本県への関心度や応援意向、本県の情報に触れる機会が減少しており、時間の経過とともに風化が進んでいる。

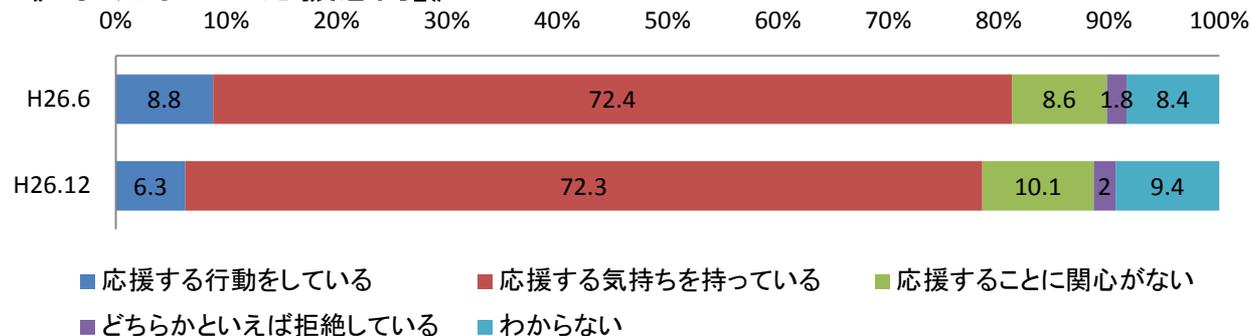
《「ふくしま」の震災全体についての関心度》



64.7%

62.4%

《「ふくしまへの応援意向》



81.2%

78.6%

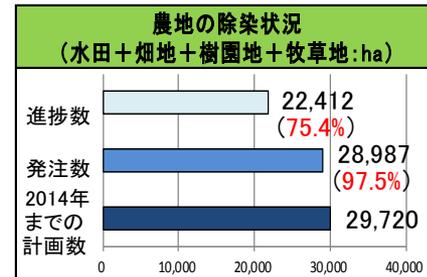
「ふくしま」を応援したい人は8割前後いるが、このうち「応援行動をしている人」は1割未満。

《課題》

- 福島への関心や応援する気持ちが高まり、共感を得られるような情報発信の検討
- 県外の方にふくしまの情報を伝える機会の拡大

農林水産業の復興・再生に向けた取組

農地等の除染



※2015年2月末現在(除染特別地域を除く)。

県産農林水産物のモニタリング等状況

(平成26年4月1日～27年3月31日) ※「玄米」のみ、平成26年8月1日～平成27年3月31日

県産農林水産物は、出荷前に検査を実施しています。基準値を超過した場合には、品目ごとに市町村単位で出荷が制限されるため、流通している農林水産物は安全性が確認されています。

全量全袋
検査

種別	検査数	基準値超過数	超過数割合
玄米	約1,098万件	0件	0.00%
野菜・果実	5,850件	0件	0.00%
畜産物	4,867件	0件	0.00%
山菜・キノコ	1,564件	25件	1.60%
水産物	9,688件	75件	0.77%



県産農林水産物のPR

風評払拭を図るため、県産農林水産物の魅力の発信と、安全・安心に向けたPR活動等を行っています。



チャレンジふくしま農林水産物販売力強化事業

ふくしまの豊かな自然と農林水産物の魅力、安全管理の取組などを様々なメディアやセミナー、ミラノ国際博覧会日本館への出展等を通して国内外へ発信。



日本橋ふくしま館「MIDETTE(ミデッテ)」

県産品の安全・安心、福島復興の状況などふくしまの魅力と「今」を発信中。

観光業の復興・再生に向けた取組



Future From Fukushima.

様々なイベントで観光再生が加速



鶴ヶ城

平成25年に会津若松市を訪れた観光客は395万人となり、過去最多を記録しました。

H26.10



B-1グランプリin郡山

平成26年10月18,19日開催。今回は「東北・福島応援特別大会」と位置づけられ、全国59の「まちおこし」団体が集いました。45万3千人が来場。

H26.4~9



ロックコープス

「4時間のボランティア活動でコンサートに参加できる」音楽の力で社会貢献を推進するプロジェクト。復興支援としてアジアで初めて開催されました。

H26.6



日本陸上競技選手権大会

平成26年6月6～8日に開催。

H27.7



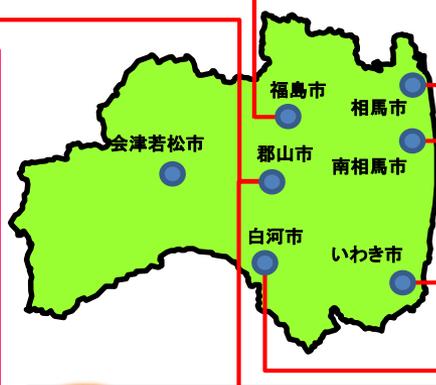
相馬野馬追

平成24年7月から再開。毎年、大勢の観光客で賑わっています。

福が満開、福のしま。

デスティネーション キャンペーン開催!

- ふくしまプレDC 平成26年4月～6月
- ふくしまDC 平成27年4月～6月
- ふくしまアフターDC 平成28年4月～6月



H27.5



※前回サミットの様子(出典:首相官邸HP)

第7回太平洋・島サミット

いわき市にて開催予定。国際的な知名度の向上、交流人口の拡大、風評払拭等が期待されます。

ふるさとの祭り2014

(平成26年10月4,5日開催)



東日本大震災と東京電力福島第一原発事故後に担い手が避難し、継承が困難になっている浜通りの団体など20団体が出演し、古くから続く民俗芸能を披露しました。

H26.4



東京ガールズコレクションin福島2014

平成26年4月開催。若者の元気な笑顔とパワーが福島にさらなる活気を与えてくれました。

H27.6



こども夢フェスタinしらかわ

平成27年6月6,7日に開催予定。県内外から、当地キヤク友が集まり、本県の元気を全国に発信します。

商工業の復興・再生に向けた取組

県内に工場等を新・増設する企業を支援

パルプ・紙・紙加工品



福島市

新設

加工紙製造



伊達市

増設

電気機械器具製造



南相馬市

増設

医薬品原薬製造



広野町

増設

自動車関連部品製造



田村市

増設

太陽光関連部品製造



須賀川市

新設

繊維、化学工業 他



いわき市

増設



ランドセル製造



会津若松市

新設

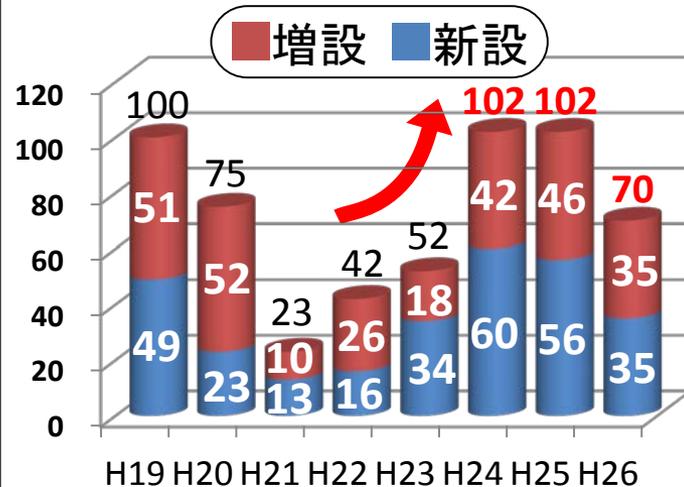
平成27年3月現在、**433社** を指定

4,987人の
雇用創出見込み



県内で工場の
新増設の動きが**急増!**

県内の工場 新・増設状況
[敷地面積1,000㎡以上]



国内外への情報発信の取組

国内

- チャレンジふくしまサミットの開催
 - ・シンポジウムや企業交流会を全国各地で開催し、本県の魅力や正確な情報を発信し、本県を応援する人の輪を広げる。
 - ・平成26年度は、大阪、福岡、東京の3会場で実施。今年度は、名古屋、札幌、福島を加え計6カ所で開催。

民間との連携

- ・平成26年度開催の九州サミットをきっかけに、県産オリジナル米「天のつぶ」の販路拡大を目指すJAそうまが、九州ローソン支社と連携。
- ・ローソンの通信販売で、「天のつぶ」の取り扱いが開始。

本県を応援する企業・団体等の輪が拡大

海外

- チャレンジふくしま海外発信事業
 - ・知事がイギリス、スイスを訪問し、本県の現状や復興が着実に進んでいる姿を発信する。(H27.7.12～18予定)

民間との連携

- ・海外県人会の「ロンドンしゃくなげ会」、世界有数の総合大学である「ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン」など、本県に想いを寄せていただいている皆様と連携。
- ・同大学における講演や、英国会議事堂でのレセプションなどを開催する。

本県の正確な情報を直接伝えることで、共感の輪が拡大

未来をつくるプロジェクト

取組の概要

- 県外自治体及び企業・団体等を訪問し、これまでの支援への感謝と、本県の現状を伝える。
- H26.8～H27.2まで、知事、副知事、部局長等により、自治体15カ所、企業・団体等64カ所への訪問活動を実施。

支援への御礼

福島現状を伝える

関係の深化

支援継続、新たな連携協力

自治体の支援事例

【広報誌等での情報発信】

東京都、宮崎県、滋賀県、千葉県、さいたま市

【観光誘客、教育旅行誘致等への支援】

埼玉県、東京都、千葉県、奈良県

企業・団体等の支援事例

- ・全国的な企業ネットワークにより県産品購入促進、県内観光施設利用促進
- ・県産農産物を活用した商品開発
- ・企業マルシェの開催
- ・社員食堂での県産メニューの提供
- ・福島県内での親子ダンス教室の開催

支援への感謝と復興の現状や取組を伝え、共感の輪を拡大することで、福島を応援する活動が増加

方向性

①ターゲットを意識した取組を行う。

②市町村・国・民間企業等との連携を強化し、取組の機会を増やす。

③正確な情報を「より伝わる」、「より共感を得られる」発信を目指す。

一体的な取組

効果的な発信

対策の強化

県全体の対策強化

12市町村の再生に向けて

農林水産物

- 農林水産物の魅力と食の安全の取組の発信強化
- 流通業者・販売店への訪問活動など、販路回復・開拓へ向けた対策強化
- 食の安全の取組、生産農家の姿、おいしさなどの魅力の発信強化

12市町村の農業再生に向けた取組
除染の徹底、担い手の確保、技術支援、
検査体制の強化、流通・販売体制の構築 など

観光

- ふくしまDCで培った観光振興体制、魅力の発信及び本県ならではのおもてなしを定着させ、DC以降の継続した誘客に向けた対策強化
- 首都圏・近隣県の学校を中心とした教育旅行の回復に向けた対策強化

12市町村へ観光客を誘導する取組
広域的な周遊ツアー等の企画商品化
観光を含めた交流人口の拡大 など

情報発信

- 本県の現状や正確な情報、魅力を継続的に発信
- 人から人へ直接、感謝を伝え、共感を得られるよう発信
- 本県への関心やイメージの向上につながる対策強化

12市町村の現状や正確な情報をわかりやすく、丁寧に発信
除染・復興の進捗の情報を常に更新し、発信

連携

- 市町村の情報発信事業等への支援、市町村の広域的な取組の仕組みづくり
- リスクコミュニケーションや輸入規制解消へ向けた取組強化の国への働きかけ
- 国の取組と連動した対応や、国のネットワークを活用した民間企業・団体との連携強化に向けた仕組みづくり
- 県産品の利用促進、社内旅行での本県訪問など、民間企業・経済団体との連携強化に向けた仕組みづくり
- 広報誌等への情報掲載、本県への派遣職員との協力、教育旅行誘致に向けた都道府県等との連携強化

県全体の復興の加速化

12市町村の復興再生